

2年理数科が英語ポスター発表会を実施 筑波研修の成果を英語で発表

10月15日（月）水沢高校の大会議室で、2年生理数科が英語ポスター発表会を実施しました。英語ポスター発表会は平成25年度から実施しており、今年で6回目です。8月の筑波研修で見学した7つの研究機関や施設の概要やそこで学んだことを英語のポスターにまとめて、英語で発表し、英語で質疑応答しました。また英語ポスター発表会には岩手県教育委員会のシャーロット・ライト先生が助言者として参加しました。また、筑波研修では、岩手県に誘致が進められているILC（国際リニアコライダー）に関係の深く、素粒子について研究している施設である高エネルギー加速器研究機構（KEK）を訪問していることから、奥州市総務企画部ILC推進室のトマス・アンナさんも参加しました。今年度は、聴衆として初めて一年生が参加しました。内容について知識がない一年生が興味を持って聴けるように各グループSHOW&TELLを用いるなど工夫をしながら発表していました。



クイズなど Show & Tell を活用し
より楽しめる発表になるよう工夫しました



岩手県教育委員会のシャーロット・ライト先生などから
効果的なプレゼン方法について助言をしてもらいました

岩手県教育委員会のシャーロット・ライト先生からは、「姿勢・はっきりと聴衆に届く声・理解しやすい英語表現、この三つが整えば自信に満ちたポスター発表ができる。そのためには何度も何度も練習する必要がある。"Practice makes perfect"という言葉があるようにプレゼンに沢山取り組んでほしい。そして、質疑応答に関して、もっと質問される内容を予測すべき。クイックレスポンスは難しいが、準備でかなり対応できる。課題研究英語発表会で成長した姿を見るのが楽しみです。」と講評を頂きました。

2年生理数科の生徒は、来年、今年度取り組んできた課題研究の成果を口頭発表します。そして来年5月に課題研究の成果を英語で発表します。今回の経験が課題研究英語発表会につながると期待します。